



発行 昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院  
発行責任者 昭和大学病院長 板橋 家頭夫  
編集責任者 広報委員長 河村 満  
〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8  
TEL : 03-3784-8000 (代表)

昭和大学病院のホームページ : <http://www.showa-u.ac.jp/SUH/>

昭和大学病院附属東病院のホームページ : <http://www.showa-u.ac.jp/SUHE/>

### 診療科長就任のご挨拶

#### 昭和大学病院 呼吸器外科 教授 鈴木 隆

2016年4月1日から呼吸器外科診療科長の重責を命ぜられました鈴木 隆です。外科学講座呼吸器外科学部門長の門倉光隆教授のもとで診療、教育、研究に邁進して参ります。私が昭和大学へ奉職したのは1987年1月昭和大学藤が丘病院外科でした。藤が丘病院の故堀豪一准教授から私の卒業大学の上司に「若手の呼吸器外科医が一人だけほしい」との依頼に基づいての異動と聞いています。その後堀先生以下私も数名は胸部心臓血管外科として外科から分離しました。2000年1月堀先生が逝去され、そのあと私が同診療科の責任者を託されました。約24年藤が丘病院で働きましたが、2011年2月昭和大学横浜市北部病院呼吸器センターへ中島宏昭教授の後任として異動しました。呼吸器センター長を約5年務め今年3月に定年となりましたが、再雇用いただきまして昭和大学呼吸器外科での役職を賜った次第です。昭和大学にはすでに29年勤務させていただいており誠に感謝しています。

藤が丘病院の故堀准教授は血管外科手術の達人でした。私の肺癌の手術の際の血管鞘の剥離は堀先生に倣ったものですが、血管の吻合、バイパスを用いた再建術は私には真似のできないものでした。1980年代、90年代に注目された肺癌の拡大切除術を堀先生に助けていただいで施行し、当時

はまだ珍しかったビデオに撮影して学会に発表したものでした。その後、内視鏡手術の時代となりました。藤が丘病院では池田忠明先生が腹腔鏡手術の黎明期から係わっておられたため、私も薫陶をうけ早い時期から内視鏡手術を胸部の手術に取り入れました。本邦で現在普通に行われている膿胸に対する胸腔鏡の搔把洗浄術は私が早い時期に導入しその有用性を繰り返し学会で報告した結果と自負しています。



昭和大学横浜市北部病院呼吸器センターは呼吸器内科と呼吸器外科が一緒に働く診療科です。私は同センターへ赴任するまで呼吸器疾患を外科の眼でだけみていましたが、毎朝の合同カンファレンスで呼吸器内科の笠原慶太准教授、鹿間裕介准教授の悪性腫瘍、感染症、閉塞性肺疾患、気管支喘息、間質性肺炎などに関する深い知識を垣間見ることができました。

以上のような昭和大学の2病院の勤務から、肺癌の拡大切除、胸腔鏡手術の経験を重ね、さらに呼吸器内科の最先端を見聞きすることができました。これを背景にして呼吸器外科で診療、教育、研究に邁進する所存ですのでご指導、ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。

## 新入職員オリエンテーション

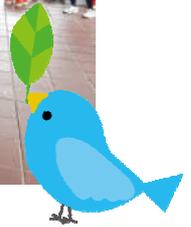
平成 28 年 4 月 1 日(金)、4 月 4 日(月)、2 日間にわたり新入職員オリエンテーションを行いました。  
今年度は明治神宮会館で入職式を行い、昭和大学病院入院棟地下 1 階臨床講堂に場所を移し、病院管理者の挨拶、各部署から病院勤務にあたる際の注意事項などの説明がありました。2 日目には消火訓練も行いま



臨床講堂での様子



消火訓練の様子



文責：管理課

## 初期臨床研修医オリエンテーションを開催いたしました

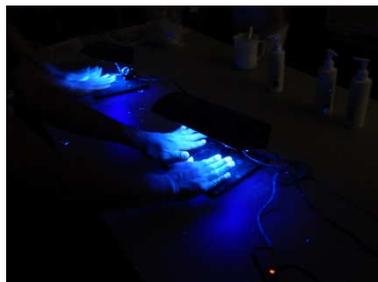
平成 28 年 4 月 1 日(金)～4 月 7 日(木)までの期間、36 名の初期臨床研修医に対しオリエンテーションを行いました。研修システム等の説明や、各部署から研修中に必要な基礎知識、実技について講習が行われました。



ICLS 実技実習



座学中の様子



手洗い講習



気管挿管実習



## 第2回 JMECC 開催報告

平成 28 年 3 月 13 日(日)に第 2 回 JMECC(内科救急・\* ICLS 講習会)を開催しました。今回もディレクターに藤沢市民病院の西川正憲先生をお招きし、密度の濃い講習会が行われました。閉会時には西川先生から一人ひとり修了証が授与されました。

※ICLS：immediate Cardiac Life Support。あらゆる医療者が身につけておくべき、蘇生の基本的事項を習得する講習会。

ジェイメック

### JMECC(内科救急・ICLS 講習会)とは？

内科医が心肺停止時のみにかかわらず、緊急を要する急病患者に対応できるよう、日本救急医学会策定の「ICLS」を基礎に日本内科学会独自の「内科救急」をプログラムに導入した講習会。



講習中の様子

### 受講者一覧

施設	所属	氏名
昭和大学病院	循環器内科	安達 太郎
昭和大学病院	循環器内科	塚本 茂人
藤が丘病院	循環器内科	前田 敦雄
藤が丘病院	腎臓内科	笹井 文彦
横浜市北部病院	呼吸器センター	堀内 一哉

### 指導者一覧

施設	所属	氏名
藤沢市民病院	診療部長(呼吸器内科)	西川 正憲
藤沢市民病院	医長(呼吸器内科)	水堂 祐広
横浜市立大学市民総合医療センター	部長(血液浄化療法部)	平和 伸仁
昭和大学病院	助教(総合内科(ER))	垂水 庸子
昭和大学病院	助教(総合内科(ER))	原田 拓
昭和大学病院	助教(総合内科)	平塚 祐介
藤が丘病院	講師(循環器内科)	佐藤 督忠

文責：管理課

## 黄色エリア訓練開催報告

平成28年3月24日(土)に昭和大学病院 1階外来会計前で\*黄色エリア訓練を行いました。毎年9月に行う防災訓練は平日に行うため、診療スペースを確保できず、黄色エリア訓練を行っていませんでした。しかし、平成25年度から9月の防災訓練とは別に黄色エリア訓練を行っており、今回で3回目となりました。

当日は院内各部署の防災担当係84名が参加し、過去最大の参加者となりました。他部門との連携や情報共有の方法などこれまでの訓練の反省点や教訓を活かし、これまで以上に円滑に訓練を行うことが出来ました。



今後も地域の災害拠点病院としての役割を果たすため、防災訓練に取り組んでいきます。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。

※黄色エリア：治療の蔓延が生命危機に直結しないもので、歩行不能な傷病者の待機、処置場所

文責：管理課



当日風景

## ボランティア活動報告

### ① 院内コンサート

「病院でコンサートが聴けるなんて!」「辛い入院生活を忘れさせてくれる癒しのひとときです」「美しい音楽に触れて、がんばろうという気持ちを新たにしました」などなど、毎回嬉しい感想をいただいております院内コンサートも、昨年12月に通算70回を超えました。東病院でのコンサートも定着しています。今年度も皆様に楽しんでいただけるよう工夫を凝らしてまいります。

月日	演目	観客数	手伝数
5/23	ゴスペル	126	36
6/26	中国琵琶	27	7
7/23	女声コーラス	126	36
8/21	弦楽四重奏	35	5
9/26	ジャズ	66	36
10/23	ギター弾き語り	40	6
11/26	管弦楽	90	52
12/18	オカリナ	46	10
12/19	女声コーラス	128	22
1/23	朗読とソプラノ	102	22
2/19	ヴァイオリン	45	13
3/19	男声コーラス	116	36

### 平成28年度コンサート6、7月の開催予定

6月4日(土) 15:00~16:00

於：大学病院中央棟1Fロビー  
ソリスト3人の共演

6月24日(金) 15:00~15:30

於：東病院3Fディルーム  
ギターアンサンブル

7月23日(土) 15:00~16:00

於：大学病院中央棟1Fロビー  
男女14人の混声コーラス

大学病院：隔月第3土曜日 14:00~15:00

東病院：隔月第2金曜日 15:00~15:30

## ② 園芸

芽吹きの中。中央棟の職員通用口前の花壇には冬越えしたペチュニアが美しい花を咲かせています。淡いブルー、紫、スモークピンクと色とりどりの花が咲き誇るさまは、厳しい冬を越えた自信がみなぎっているかのよう。ひと回り遅くなったペチュニアをご覧ください。また、救急病棟西側にはノースポールの花が辺りをパッと明るくしてくれています。よく見るとアジサイも芽を出しています。まさに春爛漫。花壇のあちこちで新しい命が芽吹いています。



ペチュニアの花

## ③ 美術展示

院内美術展示活動 2 周年を記念して主催者から「活動記録」アルバムが贈呈されました。展示回数は 37 回（中央棟 2 階の渡り廊下に設置）におよび、子どもから親、先輩へと活動が広がり、展示のテーマも「童のページ」から豊かな四季を表現した「季節のページ」へと拡大成長していく様子がわかります。



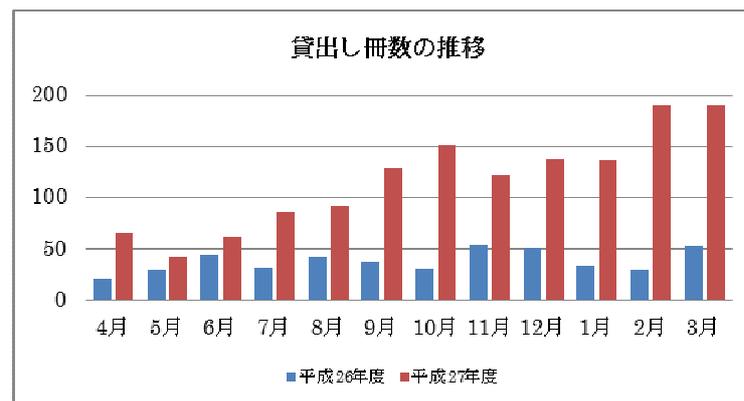
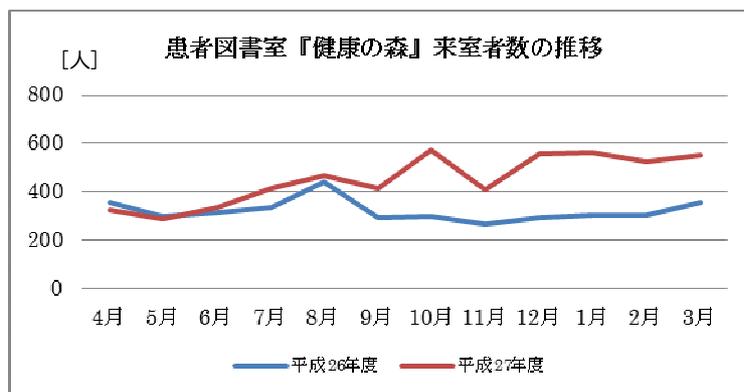
過去の美術展示を集めたアルバム



童ページ

## ④ 患者図書室『健康の森』

かねてから要望の強かった一般図書の貸出しを平成 26 年 11 月から実験的に導入。翌 27 年 4 月に「ボランティア文庫」として正式に設置しました。当初図書ボランティアさんが持ち寄って 61 冊からスタートした蔵書も、退院される患者さんや看護師さんたちの寄贈により、今では 500 冊を超えています。それと並行して図書室の来室者も少しずつ増え、図書の貸出数が大幅に増えつつあります。今回の一般図書導入のきっかけになったのは図書ボランティアさんたちの声でした。最近では通院中の外来患者さんへの医療図書の貸出し希望が多いとの意見が出されています。これからもボランティアさんの声に耳を傾け、図書室の利用促進を図っていきたくと考えています。



放射線室は、放射線や高磁場を用いて検査・治療を行う部署です。業務内容は検査・治療の特殊性から 5 つの部門に分かれています。各部門は、検査で取得した画像の提供、治療や手術様に作成した支援画像の提供、包括的指示における治療や手術への技術支援、医師の指示のもと放射線を直接患者さんに照射する放射線治療を行っています。また、放射線機器や放射線被曝の管理などの業務を行っています。現在、放射線室に所属する診療放射線技師は、57 名です。では、5 つの部門について、簡単に紹介致します。

1) 一般撮影部門：

胸腹部、全身骨の X 線撮影を行う部門です。一日約 300 名程度の患者さんが撮影に来られ、約 850 枚程度の撮影を行っています。

2) 血管撮影・X線透視撮影部門：

X線透視下で、血管や各臓器を治療したり、内視鏡やエコーを用いながら生検や、治療を行う部門です。検査・治療手技をする先生方が治療を行い易い様、最適な画像を検査室のモニタに表示する等、検査・治療の技術支援を行っています。

3) CT・MRI 部門：

X線や磁気を用いて身体の断層画像を取得する部門です。得られた画像データを 3D再構築し、依頼医が必要とする血管や骨の画像を提供しています。また、MRI では、血流の速度、脳の代謝分布等なども取得することができ、治療や手術の支援データとして提供しています。

4) 核医学部門：

放射性医薬品を用いて、臓器の機能を検査しています。放射線医薬品の調剤は薬剤師と連携しながら実施しています。

5) 放射線治療部門：

高エネルギーの放射線を用いて癌の治療を行う部門です。医師、看護師、診療放射線技師全員でカンファレンスを行い、患者さんの治療計画を立てています。

放射線室は、医師、看護師、看護助手、事務員（受付・トランスクリイバー）、診療放射線技師が協同して、部署を運営しています。チーム医療の一つとして、医師、看護師、診療放射線技師による造影剤副作用訓練やMRIの安全に関する訓練を毎年実施しています。患者さんにとってよりよい放射線検査・治療を行うために今後も努力致します。



CT 検査における造影剤副作用訓練風景

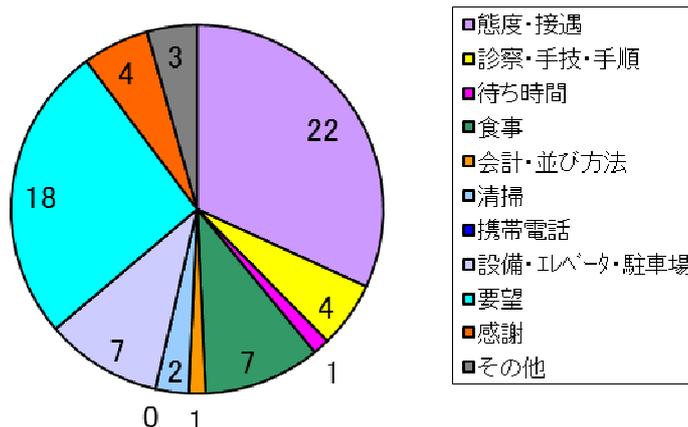


放射線治療カンファレンス風景

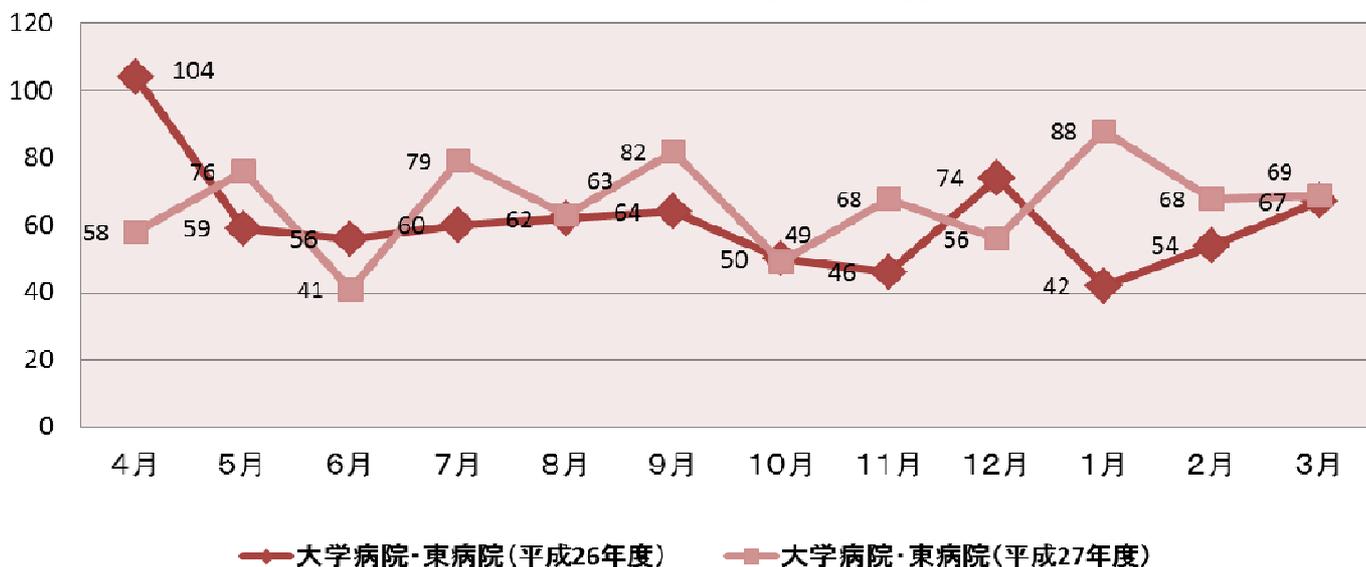
**患者さんのご意見・要望**

ご意見・要望	回 答	回答部署
<p>マスクをしているとあまりよくきこえません。もう少し大きい声でお願いいたします。</p>	<p>このたびは当院の職員の対応について、配慮が不足しており、大変申し訳ございませんでした。いただいたご意見を職員に周知し、丁寧な対応を心がけるよう徹底いたします。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>	<p>管理課</p>

平成28年3月  
ご意見・要望の内訳  
昭和大学病院・東病院総件数  
69件



**平成27年度ご意見・要望の推移**



## 各種お知らせ

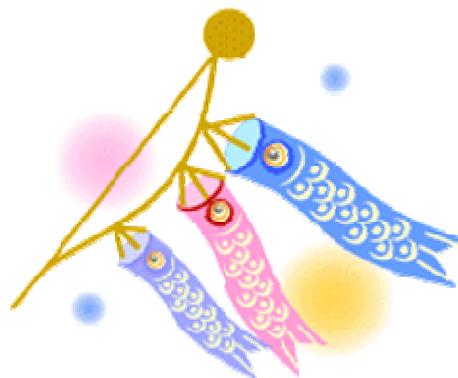
### 第73回昭和大学病院院内コンサート

日時：平成28年6月4日(土) 15:00~

場所：中央棟 1階ロビー

出演：コーロAmA(アマ) ソリスト3人共演

内容：日本の四季の歌、花、夏の思い出、ふるさと 他



## 編集後記

五月を迎え、意気昂(たか)まる人が多い一方で、悩み気持ちが萎える人もいる。温かく接し人の悩みに耳を傾けることが、人と人との間に潤いを生み出す。患者さんや新入職者への向かい方はそれぞれに違うが、心ある接し方や指導には人の血が通う。医療の進歩や制度の改変に敏感であることは重要だが、もっと大事なのは真心で向き合うこと。医療に携わる身はここから磨きたい。四月中旬に九州地方を襲った甚大で深刻な被害、心身の安寧とご復興を祈念いたします。

消化器内科 吉田 仁

## 昭和大学病院・附属東病院の理念

- 患者さん本位の医療
- 高度医療の推進
- 医療人の育成

## 昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- 患者さんが受診しやすい、患者さんのQOLを重視した、質の高い医療を提供する。
- 地域医療機関との連携を推進し、特定機能病院としての医療を担う。
- 教育病院としての機能を充実して卒前・卒後の研修・実習および生涯教育を通して、質の高い医療人の育成を行う。
- 生命倫理を尊び、科学的根拠に基づいた高度な臨床研究を実施する。

ご意見・要望につきましては、メールアドレス：[tayori@ofc.showa-u.ac.jp](mailto:tayori@ofc.showa-u.ac.jp)までお願いいたします。  
病院広報委員会委員：荒川 千春、板橋 家頭夫、伊藤 亜紀子、河村 満、日下部 まり奈、佐藤 久弥、  
田代 ゆい、田中 克巳、二木 芳人、平野 勉、吉田 仁、渡邊 聡(50音順)